

第5学年 国語科（書写）学習指導案

5年2組 25名
指導者 中山 愛梨

1 単元 文字の大きさ（漢字と平仮名）

2 単元について

本学級の児童は、自分のめあてをもって積極的に書写学習に取り組んでいる。5月に実施した書写のアンケートでは、「友達と作品を見せ合って、ここがよくなっているねと言えることが楽しい」といった記述が見られ、相互評価で相手のよいところを伝えることに喜びを感じていた。また、「大きな紙に毛筆で文字を書きたい」「手紙を書きたい」「プリントの文字を丁寧に書きたい」など、書写での学びを日常生活で生かしていきたいという思いが感じられた。その一方で、「自分の書いた文字は好きですか」という質問に対しては否定的な意見の児童が半数以上いた。その理由として、「きれいに書こうと思ってもできない」「はらいがうまくいかない」などがあり、普段の授業の様子からもう手になりたいけれど自分が満足する文字が書けないというもどかしさを感じた。児童はこれまでの学習から、文字に対してより高い目標を目指す気持ちや、もっと上手になりたいという願いを持っている。

書写の時間においてはこれまでペア学習を取り入れ、互いにアドバイスし合いながら意欲的に取り組めるよう、学習を積み重ねてきた。指導にあたっては、自分のめあての達成に向けて効果的な練習方法を選択し、自分のめあてに合った練習ができるように声かけをしてきた。その結果、練習方法の選択場面や練習の過程で、友達との対話やアドバイスができるようになってきた。前単元「文字の大きさ（漢字どうし）」では、画数の少ない文字を小さく書くことや、文字の中心に気を付けて書くことで配列が整うことを学習した。

本単元では、『登る』を教材文字として平仮名は漢字より小さめに書くことや、前単元に引き続き文字の中心や余白に気を付けて書くことを学習する。文字の大きさや形をわかりやすくするために、外形シートを準備する。また、配列を整えるために、『登』の1画目の始筆だけを示した練習用紙も準備し、1画目の位置に気を付けたり、中心を意識したりできるようにしたい。そして、児童それぞれが対話を通して互いにアドバイスをし合い、自分のめあての達成ができるようにしたい。

本校の研究副主題「主体的に学び、共に高め合う書写学習」を実現するために、文字を書くときのポイントやコを自ら見つけ、友達とアドバイスし合いながら自分の課題を解決する力を育ててきた。毛筆の学習に対して抵抗を感じている児童も、書写学習の活動の中で、満足のいく文字を書くことができたときや友達にほめてもらったときなどに達成感や充実感を感じてきている。互いのよさやがんばりを伝え合う活動をしていくことで、喜びや楽しさを感じながら共に高め合い、学び合えるように工夫していきたい。また、自己評価、相互評価の後に、友達に教えてもらった自分のよさや友達のアドバイスから、次時のめあてや課題をより明確にもつために再度の自己評価を取り入れ、さらに意欲的に取り組めるようにしたい。このような書写学習を通して自分の書く文字を好きになり、自信をもって書いたり、日常生活に生かしたりしていこうとする態度を育てていきたい。

3 単元の目標

- (1) 漢字と平仮名の大きさの違いについて理解し、漢字と平仮名の大きさに気を付けて、配列を整えて書くことができる。
- (2) めあての達成に向けて意欲的に取り組み、自分や友達のよさを見つけて、伝え合い学び合おうとしている。

4 単元の評価規準

ア	知識・技能	漢字と平仮名の大きさの違いについて理解し、配列を整えて書いている。
イ	主体的に学習に取り組む態度	①自分のめあてをもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 ②自分や友達のよさを見つけて、伝え合い学び合おうとしている。

5 単元の指導計画（3時間）


- 第一次 漢字と平仮名の大きさの違いや字形に気を付けて書こう・・・・・・・・・・ 1時間
 第二次 漢字と平仮名の大きさに気を付けて、配列を整えて書こう・・・・・・・・・・ 1時間（本時）
 第三次 漢字と平仮名の大きさに気を付けて、硬筆で字形を整えて書こう・・・・・・・・・・ 1時間

6 本時の学習

(1) 目 標

- 漢字と平仮名の大きさの違いに気を付けて、配列を整えて書くことができる。
- 自分のめあてをもち、自分や友達のをさを伝え合いながら学習に取り組もうとする。

(2) 展 開

過程	児童の活動	教師の指導支援	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてをつかむ。	1 前時に設定しためあてを確認できるように声かけをする。	
	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> 漢字と平仮名の大きさに気を付けて、配列を整えて書こう。 <ul style="list-style-type: none"> ・配列 ・文字の大きさ ・字形 </div> </div>		
高める	2 自分のめあてに向かって練習する。 ・めあてに合った練習方法を選び、互いにアドバイスし合いながら練習する。	2 互いにアドバイスをし合いながら、練習を進められるように支援する。 ・水書用紙 ・練習用紙 ・動画 ・外形シート	イ② 自分や友達のをさを伝え合いながら学び合おうとしている。 (観察)
確かめる	3 本時のまとめをする。 ・まとめ書きをする。 ・自己評価や相互評価をする。	3 自分のめあてや友達からもらったアドバイスを意識しながら、まとめ書きや自己評価・相互評価ができるようにする。 ・相互評価を通して、自身の文字の変容やアドバイスの効果に気付き、それをもとに、次時の自らのめあてへと繋げるようにする。	ア 漢字と平仮名の大きさの違いについて理解し、配列を整えて書いている。 (観察・まとめ書き)
生かす	4 学習したことを生かす。	4 本時の振り返りをするすることで、次時の学習への意欲を高める。	

(3) 評価及び指導

① 「十分満足できる」と判断される状況

ア	漢字と平仮名の大きさの違いについてよく理解し、字形や配列を整えて書いている。
イ②	自分や友達のをさに気付き、積極的に伝え合い学び合おうとしている。

② 「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導（手立て）

ア	個々のめあてに合った練習方法を助言したり、動画を見て文字の大きさの違いや配列について共に確かめたりする。
イ②	自分や友達のめあてを確認し、互いのよさを見つけられるように観点を提示したり、話型を示したりして、見つけたことを伝えられるように支援する。

